e-Front runners

取扱説明書	温度発信器	形 式 FRC

HART 通信による設定

本器（FRC）は HART 通信による設定が可能です。

お手持ちの HART コミュニケータに FRC の Device Description（DD）がインストールされていない場合は、FRC DD をインストールして下さい。FRC DD は HART 協会発行のデバイス・ドライバ・ライブラリ（2002 年 6 月またはそれ以降に発行されたもの）に収録されています。

本項では、FRC DD をインストール済の HART コミュニケータを使って本器を設定する方法を説明します。

なお、図 1 に HART コミュニケータ使用時のメニュー・ツリーを示します。

A. オンラインメニュー

オンラインメニューでは、現在の入力信号の値（PV）、出力信号の値（AO）および入力レンジの下限設定値（LRV）と上限設定値（URV）が表示できます。Device Setup メニューを選択すると、本器の設定が可能になります。

B. 入力センサの設定

Select Snsr メニューでは、入力センサの種類（mV、熱電対、測温抵抗体を選択できます。また、測温抵抗体の場合は、導線の数（2 線式、3 線式または 4 線式）を選択できます。

C. 入力信号の設定

Basic Setup メニューでは、入力レンジの上下限値とその単位およびダンピング時間の設定が可能です。ダンピングは、入力信号のふらつきを除去し、出力信号を平準化します。ダンピング時間は 0 秒（ダンピングなし）から 30 秒の範囲で設定可能です。

Signal Condition では、入力レンジの上下限値とその単位、ダンピング時間を設定できます。

D. アナログ出力設定

Analog Output メニューでは、出力調整、出力テストおよびバーンアウト設定（上方、下方およびなし）が可能です。

E.HART 通信の設定

HART Output メニューでは、ポーリングアドレス（0～15）、バーストモードの ON／OFF およびバーストデータの種類が選択できます。

F. 機器情報

Device Information メニューでは、本器の機器情報の表示および下記項目の設定が可能です。

Tag
Descriptor
Date
Message
PV Snsr s/n
Final asmbly num

G. センサ入力校正

Calibration メニューでは、校正されていないセンサを使用する場合に、ゼロ・スパン校正によるセンサ校正が可能です。“Snsr Zer Cal.”ではゼロ点でのオフセット値を“Snsr Span Cal.”ではゼロ点とのゲイン（傾き）を校正します。ゼロ・スパン校正は、測定可能レンジの任意の点で校正することができます。

“Reset Cal.”は、センサ校正を出荷時状態に戻します。このサブメニューが実行されると、センサ校正データが消去されます。センサタイプを変更したときには、過去のセンサ校正データは消去されます。

H.端子温度の単位と冷接点補償

Term Temp Sensor では、端子温度の単位設定と冷接点センサの使用・不使用を決定できます。入力センサの種類を熱電対に設定すると同時に冷接点補償を使用する設定になります。必要に応じて使用・不使用を選択して下さい。

I. 出力テスト

Loop Test メニューでは、4 mA、20 mA および任意の電流を入力信号に関わりなく出力します。

J. 診断機能

Test Device メニューでは、本器のリセットスタート（再起動）、自己診断およびその結果の表示が可能です。

K. 設定確認

Review メニューでは、本器の設定状況を確認できます。このメニューでは、設定の変更は行えません。

富士電機システムズ株式会社
TEL（042）585-2800　FAX（042）585-2810

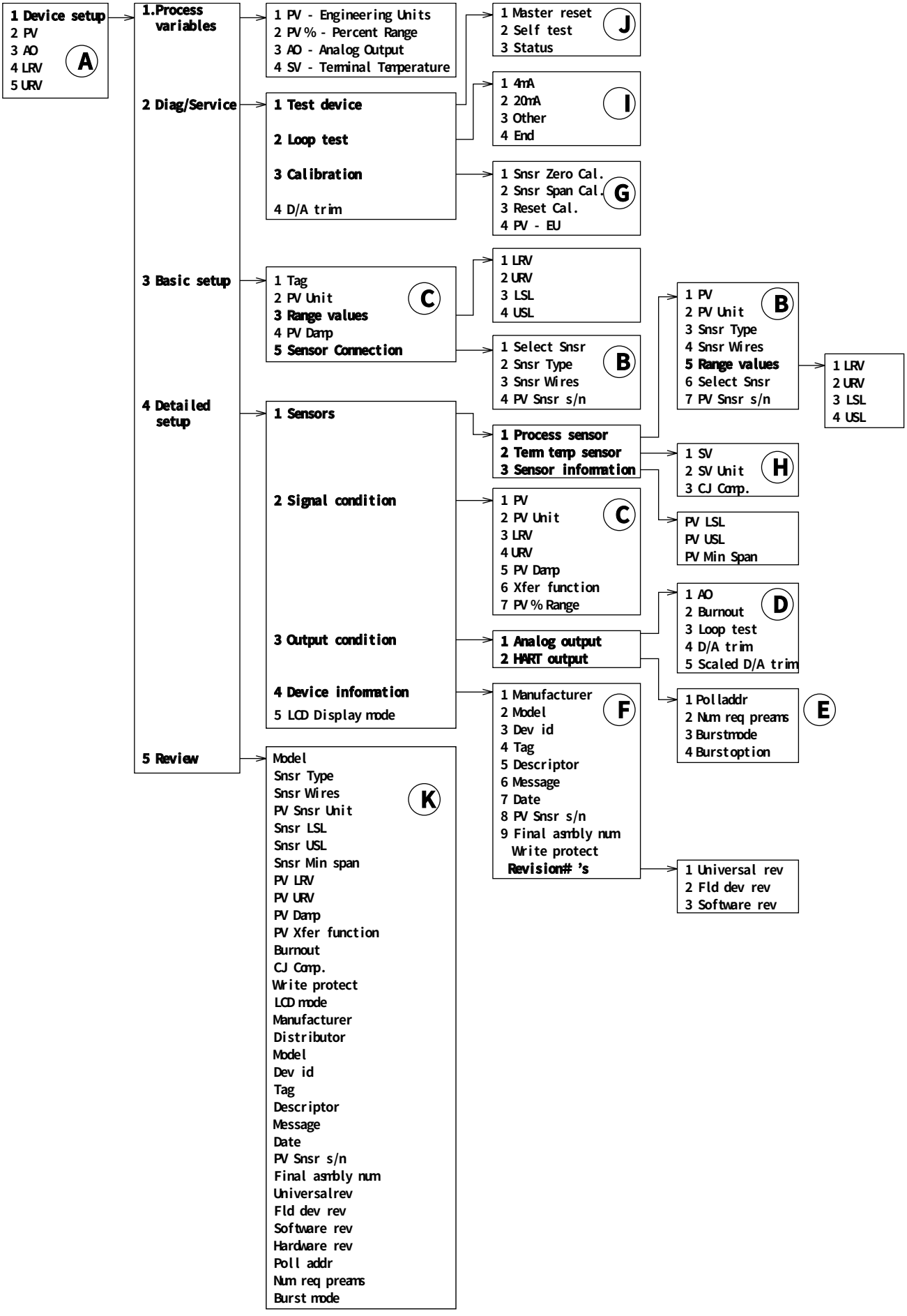

図 1　FRC　HART コミュニケータ・メニュー・ツリー